

「捕えようとして追求している」

ピリピ3：8—14

堀田修一 22・1・23

I 「キリストのゆえにすべてを失いましたが（原語：失って。破船しそうな船が余分なものを捨て港に無事に着く譬え。使徒27：38）、それらをちりあくと考えています（これはパウロが判断力を失い必要なものすべてを捨てたという意味ではなく、素晴らしい主と世の物を比べるなら、すべてが色あせて見える。愛する主の御心なら、すべてを捨てて主に従う心、覚悟があるという事）」：8と、無理をせず本音で心から確信と喜びをもって告白できる理由、根拠→この告白は二つの恵みに囲まれている。

① 私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに」：8。すでに得ている恵みの故に。自分の罪深さを知り、ますます主の十字架の恵み、素晴らしい救い、主の愛の広さ深さ、主ご自身を知っている事の素晴らしさの故に。

② それは（その理由は）、私がキリストを得て（主を信じて主を知る恵みが始まった。それから主を深く知り続ける、得続ける）、キリストにある者と認められるようになるためです（主にあって義と認められる）。私は律法による自分の義（律法を自分の力で完全に守る事により神に正しいと認めてもらおうとする義。それは不可能。真の救い、平安は決してない）ではなく、キリストを信じる事（主が私のすべての罪の刑罰を身代わりに十字架で受けて下さったと信じる、キリストを救い主・主・神と信じる信仰）による義（神の前に正しいと認められ、神と正しい関係になる）、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです」：9。最後の裁きの時にも神が実現して下さる確実な救いの望み→「あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれ（救い）を完成して下さる」（1：6）。これから、ますます得る恵みの故に。主の素晴らしさを知る時、主の喜ばれないものを捨てるようになる。※証し。主に喜ばれないもの、主に従う事を邪魔するものを捨てる時、ますます主を得る、主ご自身を、素晴らしい恵みを知り続ける。これが主にある者の素晴らしい特権！

II 主にある者が捕えようとして、追求するもの。

1. 「私は、キリスト（が先。大切な順序）と復活の力（主が罪とその結果である死の力から解放し、主にある命に入れて下さる力）を知り（知り続け、体験して行く※証し、48年、弱さの中で）、キリストの苦難にもあずかって（主を信じてついて行く者は主が迫害を受けられたように自分も迫害を受け、主の苦しみにあずかり、ますます主を深く知って行く※迫害の中で主を伝え人々が救われる中で主を深く知る。二人の方の証し）、キリストの死と同じ状態になり（主と結ばれて霊的に主と共に死んで）、何とかして死者の中からの復活に達したい（主の再臨の時、主によって復活する）のです」10, 11。私達は、この地上でも、復活の主の力を体験できる→「キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、

新しいいのち（主の復活の命）に歩むためです」（ローマ6：4）。「私は自分のうちに力強く働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘しています」（コロサイ1：29）。「私を強くしてくださる方（原語の意：私に力を注入し続けて下さる方＝キリスト）によって、私はどんなことでもできる（高慢な意味ではなく「どんな辛い境遇に会っても、私に力を下さるキリストにより対処できる」）」（ピリピ4：13）。コロナ禍でも希望を！

2. 背景：すでに完全にされたと言う人々がいたようである。「私は、すでに得たのででもなく（主を得ているが、完全に得てしまったのではなく）、すでに完全にされているのでもありません（まだ罪の性質が残っている）。ただ捕えようとして、追求しているのです（ただ受け身で、のほほんと生きるのでは

なく、主を深く知り続ける恵みを捕えようとして追及している。主を深く知る事を邪魔する自分の罪を

悔い改め続け、神に近づき続ける）。そして、それを得るようにキリスト・イエスが私を捕えてくださったのです」：12。何という恵み！私達が主を得よう捕えようとする前に、まず主が、ご自身を捕えるように私達を捕えて下さった。※証し。私も皆さんに対しても！不思議。常に先行する神の恵み！主がパウロを捕えられた→「ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした」（使徒9：3）。私達一人一人にもそれぞれの方法で主は私達に近づき私達を捕えて下さった。その前には、私達は、悪魔、罪、死に捕えられており、それらの奴隷だった。そんな奴隷とされていた私達を悪魔や罪や死よりも強い全能の主が私達を捕え救い出して下さった。感謝！感動！

3. 「私はすでに捕えた（すでに主をすべて知ってしまった、得てしまった）などと考えるはいけません。ただ、一つの事（主をもっと深く知る事、主をもっと捕える、主の姿に変えられる）に励んでいます。すなわち、うしろのもの（主と出会う前に頼み、誇りとしていたもの）を忘れ、ひたむきに前のもの（素晴らしい主をますます深く知る事。神が私達を造られた目的＝「主を知ることを切に追い求めよう。…わたしは…むしろ神を知ることを喜ぶ」ホセ6：3、6。神についてではなく神ご自身を知る）に向かって身を伸ばし（原語：体、手を伸ばす、得ようと努力する）、キリスト・イエスにあって神が上に召して下さるといふ、その賞（世の栄誉ではなく神からの賞、ご褒美。「私たちの心をお調べになる神を喜ばせようとして語るのです」Iテサ2：4、「よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ」マタイ25：21）をいただくために、目標（主ご自身）を目ざして一心に走っているのです（原語：追求している、後を追っている、追いかけている、追い求めている）」：14。

- III 最近の私達は、何を追い求め、何を追いかけているだろうか。主を深く知る事だろうか。父、子、聖霊なる三位一体の神である主は、私達のすべてを知っておられ、心から愛しておられる。その神は、私達との深い交わりを求め、心を開き、私達の立ち返りと交わりを待っておられる。私達が、御言葉と祈りを通して神と深く交わり、神を深く知り続ける事を神は喜ばれる。「永遠のいのちとは、彼らが唯一まことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストを知る（知り続ける）ことです」ヨハ17：3。「私たちの主であり救い主であるイエス・

キリストの恵みと知識（主を深く知る）において成長しなさい」Ⅱペテロ3：18。

励ましの御言葉「味わい 見つめよ。主がいつくしみ深い方であることを。幸いなことよ 主に身を避ける人は」詩篇34：8。「測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれますが、行き詰ることはありません。迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが滅びません。…イエスのために絶えず死に渡されています。それはまた、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において現れるためです」Ⅱコリント4：7-11。苦しみやコロナ禍の中、復活のいのちの主が共におられる！

祈り：私達が素晴らしい主をもっと深く知る事、主の姿に成長する為に主を追い求める者となれますように。自分の罪を正直に悔い改め、御霊により従い、主の御言葉を深く味わい、主との深い人格的な交わり、日々の出来事の中に主を認め、復活の主、生ける主を体験する事を通して。